

第 1 問

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	297,200	電子記録債権	300,000
	電子記録債権売却損	2,800		
2	満期保有目的債券	988,000	当座預金	988,800
	有価証券利息	800		
3	建物	180,000	当座預金	900,000
	修繕引当金	600,000		
	修繕費	120,000		
4	株式申込証拠金	22,400,000	資本金	11,200,000
			資本準備金	11,200,000
	当座預金	22,400,000	別段預金	22,400,000
5	リース資産	260,000	リース債務	260,000

【解説】

(1) 電子記録債権売却の問題

電子記録債権は手形と同様に売却できる。売却時の仕訳も手形売却と同様の処理が必要で、債権額と手取金の差額には電子記録債権売却損勘定が用いられる。

(2) 満期保有目的債券取得の問題

満期保有目的債券を取得した場合は、額面金額ではなく取得原価で記録する。なお、端数利息は取得原価に含めず、有価証券利息勘定で処理する。

取得原価の計算は次の通り。

$$¥1,000,000 \times 0.988 = ¥988,000$$

端数利息の計算は次の通り。

$$\begin{aligned} \text{経過日数：} & \quad 4 \text{月} \quad \quad 5 \text{月} \quad \quad 6 \text{月} \\ & \quad \quad 30 \text{日} + 31 \text{日} + 19 \text{日} = 80 \text{日} \end{aligned}$$

$$¥1,000,000 \times 0.365\% = ¥3,650 \text{ (1年分)}$$

$$¥3,650 \times 80 \text{日} \div 365 \text{日} = ¥800$$

第 2 問

【解答】

(1)

総勘定元帳

買掛金

年月日			摘要	借方	年月日			摘要	貸方
X1	2	28	普通預金	3,150,000	X1	1	1	前期繰越	3,150,000
	7	31	普通預金	3,240,000		4	30	商品	3,240,000
	12	31	次期繰越	2,640,000		11	1	商品	2,508,000
						12	31	為替差損	132,000
				9,030,000					9,030,000

商品

年月日			摘要	借方	年月日			摘要	貸方
X1	1	1	前期繰越	2,000,000	X1	1	31	売上原価	1,000,000
	4	30	買掛金	3,240,000		5	15	売上原価	1,060,000
			買掛金	2,508,000		6	30	売上原価	1,060,000
						11	15	売上原価	1,735,500
						12	1	売上原価	1,735,500
						12	31	棚卸減耗損	57,850
						12	31	次期繰越	1,099,150
				7,748,000					7,748,000

機械装置

年月日			摘要	借方	年月日			摘要	貸方
X1	11	1	未払金	5,814,000	X1	12	31	減価償却費	96,900
						12	31	次期繰越	5,717,100
				5,814,000					5,814,000

(2) 損益の金額

- ① 当期の売上高 ¥ 12,525,000
- ② 当期の為替差損 ¥ 708,000
- ③ 当期の為替差益 ¥ 0

【解説】

(1) 各取引日の仕訳等を示すと以下のようになる。なお、商品販売取引は掛け取引と仮定している。

1月1日

商品 2,000 個 × @ ¥1,000 = ¥2,000,000

買掛金 30,000 ドル × ¥105 = ¥3,150,000

1月31日

(借) 売 掛 金 1,800,000 (貸) 売 上 1,800,000

(借) 売 上 原 価 1,000,000 (貸) 商 品 1,000,000

売上原価の金額

1,000 個 × ¥1,000 = ¥1,000,000

2月28日

(借) 買 掛 金 3,150,000 (貸) 普 通 預 金 3,300,000

為 替 差 損 150,000

普通預金の金額

30,000 ドル × ¥110 = ¥3,300,000

4月30日

(借) 商 品 3,240,000 (貸) 買 掛 金 3,240,000

商品の金額

3,000 個 × 10 ドル × ¥108 = ¥3,240,000

5月15日

(借) 売 掛 金 2,000,000 (貸) 売 上 2,000,000

(借) 売 上 原 価 1,060,000 (貸) 商 品 1,060,000

売上原価の金額

1,000 個 × ¥1,000 = ¥1,000,000

3,000 個 × 10 ドル × ¥108 = ¥3,240,000

4,000 個 ¥4,240,000

単 価 : ¥4,240,000 ÷ 4,000 個 = ¥1,060

売上原価 : 1,000 個 × ¥1,060 = ¥1,060,000

6 月 3 0 日

(借) 売 掛 金 2,050,000 (貸) 売 上 2,050,000

(借) 売 上 原 価 1,060,000 (貸) 商 品 1,060,000

売上原価の金額

5 月 1 5 日と同じ単価 ¥1,060 で計算する。

7 月 3 1 日

(借) 買 掛 金 3,240,000 (貸) 普 通 預 金 3,360,000

為 替 差 損 120,000

普通預金の金額

$3,000 \text{ 個} \times 10 \text{ ドル} \times \text{¥}112 = \text{¥}3,360,000$

1 1 月 1 日

(借) 機 械 装 置 5,814,000 (貸) 未 払 金 5,814,000

機械装置の金額

$51,000 \text{ ドル} \times \text{¥}114 = \text{¥}5,814,000$

(借) 商 品 2,508,000 (貸) 買 掛 金 2,508,000

商品の金額

$2,000 \text{ 個} \times 11 \text{ ドル} \times \text{¥}114 = \text{¥}2,508,000$

1 1 月 1 5 日

(借) 売 掛 金 3,300,000 (貸) 売 上 3,300,000

(借) 売 上 原 価 1,735,500 (貸) 商 品 1,735,500

売上原価の金額

$2,000 \text{ 個} \times \text{¥}1,060 = \text{¥}2,120,000$

$2,000 \text{ 個} \times 11 \text{ ドル} \times \text{¥}114 = \text{¥}2,508,000$

4,000 個 ¥4,628,000

単 価 : $\text{¥}4,628,000 \div 4,000 \text{ 個} = \text{¥}1,157$

売上原価 : $1,500 \text{ 個} \times \text{¥}1,157 = \text{¥}1,735,500$

1 2 月 1 日

(借) 売 掛 金 3,375,000 (貸) 売 上 3,375,000

(借) 売 上 原 価 1,735,500 (貸) 商 品 1,735,500

売上原価の金額

1 1 月 1 日と同じ単価 ¥1,157 で計算する。

1 2 月 3 1 日

為替差損益の処理

決算時点の買掛金残高、未払金残高は次の通り。

買掛金 (11 月 1 日分) 2,000 個 × 11 ドル × ￥114 = ￥2,508,000
(22,000 ドル)

未払金 (11 月 1 日分) $\frac{51,000 \text{ ドル}}{73,000 \text{ ドル}} \times ￥114 = \frac{5,814,000}{8,322,000}$

決算日のレートは 1 ドル ￥120 だから、73,000 ドルは次のように換算される。

$$73,000 \text{ ドル} \times ￥120 = ￥8,760,000$$

負債が ￥8,322,000 から ￥8,760,000 に増えているので、為替差損が次のように計上される。

(借) 為替差損	438,000	(貸) 買掛金	132,000
		未払金	306,000

棚卸減耗損の処理

(借) 棚卸減耗損	57,850	(貸) 商品	57,850
	(1,000 個 - 950 個)	× ￥1,157	= ￥57,850

機械装置の減価償却

(借) 減価償却費	96,900	(貸) 機械装置	96,900
-----------	--------	----------	--------

機械装置の取得原価は、決算日のレートで換算せず、￥5,814,000 のまま。

$$￥5,814,000 \div 10 \text{ 年} \times 2 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = ￥96,900$$

なお、本間は直接法で記帳する指示があるため、機械装置減価償却累計額勘定を用いてはならない。

(2) 損益に関する勘定

① 当期の売上高

上記(1)の仕訳の「売上」を集計する。

② 当期の為替差損

上記(1)の仕訳の「為替差損」を集計する。

③ 当期の為替差益

上記(1)の仕訳に「為替差益」は全く出てこない。そのため、0 (ゼロ) である。

第 3 問

【解答】

			損		益					
日	付	摘 要	金 額	日	付	摘 要	金 額			
3	31	仕 入	3,633,000	3	31	売 上	7,560,000			
3	31	棚 卸 減 耗 損	22,680	3	31	受 取 手 数 料	48,700			
3	31	商 品 評 価 損	19,400	3	31	有 価 証 券 利 息	13,000			
3	31	支 払 家 賃	720,000	3	31	有 価 証 券 売 却 益	10,000			
3	31	給 料	900,000	3	31	受 取 配 当 金	20,000			
3	31	広 告 宣 伝 費	259,000	3	31	支 店	208,250			
3	31	減 価 償 却 費	160,000							
3	31	貸 倒 引 当 金 繰 入	80							
3	31	(の れ ん) 償 却	120,000							
3	31	租 税 公 課	415,200							
3	31	支 払 利 息	56,000							
3	31	(繰 越 利 益 剰 余 金)	1,554,590							
			7,859,950				7,859,950			

【解説】

未処理事項等

本店の損益に関連する仕訳を網かけで示す。

(1)

(借) 現金預金 60,000 (貸) 売掛金 60,000

(2)

(借) 車両運搬具 2,000,000 (貸) 未払金 2,000,000

(3)

(借) 本店 9,000 (貸) 現金預金 9,000

(4)

本店

(借) 支店 108,000 (貸) 仕入 108,000

支店

(借) 仕入 108,000 (貸) 本店 108,000

決算整理事項等

(1) 売上原価の算定

本店

期首商品棚卸高

(借) 仕 入 717,000 (貸) 繰越商品 717,000

期末商品棚卸高

(借) 繰越商品 756,000 (貸) 仕 入 756,000

$$1,000 \text{ 個} \times @ \text{ ¥ } 756 = \text{ ¥ } 756,000$$

棚卸減耗損

(借) 棚卸減耗損 22,680 (貸) 繰越商品 22,680

$$(1,000 \text{ 個} - 970 \text{ 個}) \times \text{ ¥ } 756 = \text{ ¥ } 22,680$$

商品評価損

原価より正味売却価額が低いので、商品評価損を計上する。

(借) 商品評価損 19,400 (貸) 繰越商品 19,400

$$970 \text{ 個} \times (\text{ ¥ } 756 - \text{ ¥ } 736) = \text{ ¥ } 19,400$$

支店

期首商品棚卸高

(借) 仕 入 483,000 (貸) 繰越商品 483,000

期末商品棚卸高

(借) 繰越商品 432,000 (貸) 仕 入 432,000

$$800 \text{ 個} \times @ \text{ ¥ } 540 = \text{ ¥ } 432,000$$

棚卸減耗損

(借) 棚卸減耗損 8,100 (貸) 繰越商品 8,100

$$(800 \text{ 個} - 785 \text{ 個}) \times \text{ ¥ } 540 = \text{ ¥ } 8,100$$

商品評価損

原価より正味売却価額が高いので、商品評価損は生じていない。

(2) 貸倒引当金

本店

(借) 貸倒引当金繰入 80 (貸) 貸倒引当金 80

$$(\text{¥}1,098,000 - \text{¥}60,000) \times 1\% = \text{¥}10,380$$

$$\text{¥}10,380 - \text{¥}10,300 = \text{¥}80$$

支店

(借) 貸倒引当金繰入 2,450 (貸) 貸倒引当金 2,450

$$\text{¥}865,000 \times 1\% = \text{¥}8,650$$

$$\text{¥}8,650 - \text{¥}6,200 = \text{¥}2,450$$

(3) 減価償却

本店

(借) 減価償却費 160,000 (貸) 備品減価償却累計額 120,000
 車両運搬具減価償却累計額 40,000

$$\text{備品} : \text{¥}600,000 \div 5 \text{年} = \text{¥}120,000$$

車両運搬具 : 未処理事項等(2)で¥2,000,000を3月1日に購入

$$\text{¥}2,000,000 \times \frac{3,000\text{km}}{150,000\text{km}} = \text{¥}40,000$$

支店

(借) 減価償却費 70,000 (貸) 備品減価償却累計額 70,000

$$\text{備品} : \text{¥}350,000 \div 5 \text{年} = \text{¥}70,000$$

(4) 満期保有目的債券

本店

(借) 満期保有目的債券 1,000 (貸) 有価証券利息 1,000

償却原価法(定額法)を適用する。

$$1 \text{年あたりの償却額} (\text{額面額} \text{¥}1,000,000 - \text{取得価額} \text{¥}990,000) \div \text{期間} 10 \text{年} = \text{¥}10,000$$

額面額と取得価額との差額は金利の調整と認められるため、償却額は有価証券利息の追加となる。

(5) その他有価証券

本店

(借) その他有価証券 59,000 (貸) その他有価証券
評価差額金 59,000

ただし、収益及び費用の勘定ではないので、損益に影響しない。

$$¥784,000 - ¥725,000 = ¥59,000$$

(6) 経過勘定項目

本店

(借) 給料 70,000 (貸) 未払給料 160,000

(借) 前払家賃 60,000 (貸) 支払家賃 60,000

損益勘定に振り替えられる給料の金額

$$¥830,000 + ¥70,000 = ¥900,000$$

損益勘定に振り替えられる支払い家賃の金額

$$¥780,000 - ¥60,000 = ¥720,000$$

支店

(借) 給料 50,000 (貸) 未払給料 50,000

(借) 支払家賃 50,000 (貸) 未払家賃 50,000

(7) 消費税

(借) 租税公課 415,200 (貸) 未払消費税 415,200

税込方式の場合、未払の消費税を租税公課として処理する。

売上や仕入の金額は消費税 8% を含んだ 108% になっているので、8% の消費税額を求める場合には、108 で割って、8 をかける必要がある。

売上に含まれる受け取った消費税の金額

$$(¥7,560,000 + ¥3,240,000) \div 108 \times 8 = ¥800,000$$

仕入に含まれる支払った消費税の金額

$$(¥3,780,000 + ¥1,414,800) \div 108 \times 8 = ¥384,800$$

* 本店から支店に移送した商品は、内部取引であるため相殺され消費税の計算から除かれる。

これから支払うべき未払の消費税の金額

$$¥800,000 - ¥384,200 = ¥415,200$$

(8) のれん償却

(借) のれん償却 120,000 (貸) のれん 120,000

当年度は平成 29 年度。平成 26 年度期首に取得したのれんは、次のように 3 年分すでに償却されている。

26 年度	27 年度	28 年度	29 年度						
----------	----------	----------	------------------	--	--	--	--	--	--

残り 7 年分 ¥840,000

当期に償却すべきのれんの金額は次の通り計算される。

$$¥840,000 \div 7 \text{年} = ¥120,000$$

(9) 広告宣伝費

本店

(借) 支店 60,000 (貸) 広告宣伝費 60,000

支店

(借) 広告宣伝費 60,000 (貸) 本店 60,000

(10) 支店損益

収益	売上	¥ 3,240,000	(残高試算表の金額)
	受取手数料	¥ <u>1,800</u>	(残高試算表の金額)
	収益合計	<u>¥ 3,241,800</u>	
費用	(1)		
	売上原価	¥ 1,573,800	
		¥ 1,414,800 + ¥ 108,000 + ¥ 483,000 - ¥ 432,000 = ¥ 1,573,800	
	棚卸減耗損	¥ 8,100	
	(2)		
	貸倒引当金繰入	¥ 2,450	
	(3)		
	減価償却費	¥ 70,000	
	(6)		
	給料	¥ 660,000	
		¥ 610,000 + ¥ 50,000 = ¥ 660,000	
	支払家賃	¥ 600,000	
		¥ 550,000 + ¥ 50,000 = ¥ 600,000	
	広告宣伝費	¥ 119,200	
		¥ 59,200 + ¥ 60,000 = ¥ 119,200	
	費用合計	¥ 3,033,550	
	支店利益	¥ 208,250	

支店は利益を損益勘定から本店勘定に振り替え、本店は支店の利益を損益勘定に計上するとともに支店勘定を同額増加させる。

支店

(借) 損	益	208,250	(貸) 本	店	208,250
-------	---	---------	-------	---	---------

本店

(借) 支	店	208,250	(貸) 損	益	208,250
-------	---	---------	-------	---	---------